

事業所名

児童発達支援事業所 キッズハウスフレンド

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

2 月

26 日

法人（事業所）理念	私たちは大切なお子様に「楽しい」と言ってもらえるような環境を作ります。常に子どもたちの気持ちを理解し、脳と体の成長のお手伝いをすることによって将来の自立へとつなげていきます。保護者の方と共感しながら、その家族が幸せになるよう貢献します。		
支援方針	楽しい活動の中で育む「知育・体育・創育・徳育・食育」を引き出し、さらに生きる力や社会性を身につけられるよう適切な療育および個別の課題（着席、注視など）の充実と訓練、理学療法を介した身体表現、体育遊び、感覚遊びを取り入れた活動を行っています。		
営業時間	9 時 30 分から 11 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	体調管理で、登所時の体温測定を行う。 活動スケジュールの提示を行い、生活リズムの定着を図っていく。また、衣服の着脱、排泄の自立等の基本的な生活動作の習得に繋げていく。 就学前の個々に合わせた生活スキルの向上を図っていく。	
	運動・感覚	外遊び・ボール遊び・体幹トレーニング等の運動活動を取り入れ、運動や動作の習得に図る。 制作や指先トレーニング、感覚遊び等で、手先を使った活動に取り組む。	
	認知・行動	文字や図形等の認識が難しい、距離感がつかみにくいなど、生活の中での困りごとを減らすためにブロック遊び、パズル、折り紙、輪投げ等の空間認知トレーニングに取り組む。	
	言語 コミュニケーション	あいさつや日常会話ができる環境を作り、話す・聞く力をつけていけるように帰りの会や活動で取り組む。 発達段階に合わせた言葉遊び（絵本・物語・ごっこ遊び）を通して、他者とのコミュニケーション能力の向上につなげていく。	
	人間関係 社会性	さまざまな活動や遊びを行い個別や小集団の中で、あいさつ、ルール、マナーなどの社会性の向上につなげていく。 遊びや活動を通して、興味や関心を広げて社会性や対人関係の芽生えを支援していく。	
家族支援	保護者の子育てや家庭での困りごとへの相談援助や兄弟姉妹への相談支援。 保護者同士の交流の場を提供。	移行支援	日常生活をスムーズに行うためのスキル習得や就学に向けての準備に取り組み、スムーズに移行できるように支援していく。
地域支援・地域連携	関係機関と連携を取りながら、適切なアドバイスや情報共有に努めていく。	職員の質の向上	施設内での研修・外部研修など 毎日のミーティングを行い、情報共有している。
主な行事等	誕生会、クリスマス会、ひなまつりなど、季節の行事等		